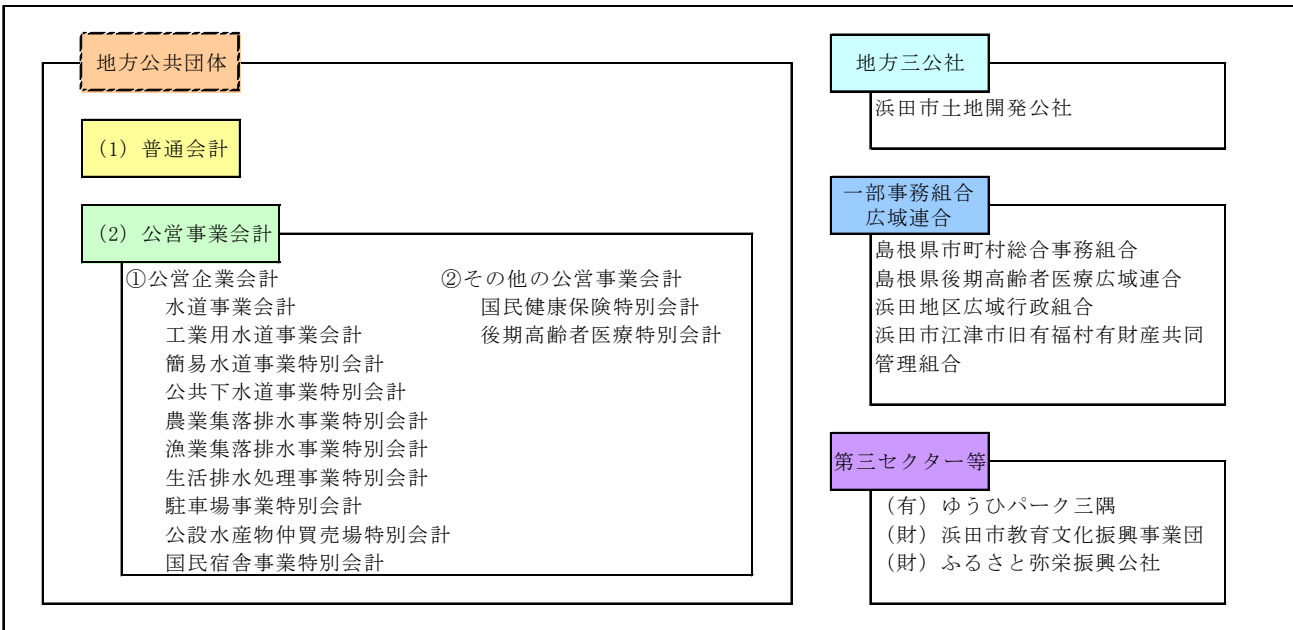


連結財務書類とは

連結財務書類とは、普通会計のほか、浜田市を構成する企業会計、その他の特別会計や浜田市と連携協力して行政サービスを実施する関係団体・法人を一つの行政サービス実施主体とみなして作成する財務書類のことで、

浜田市の連結の範囲



(1) 連結貸借対照表

浜田市の平成25年度の連結貸借対照表は、次のとおりです。普通会計単体に対して、資産が546億円増加し、2,274億円となります。負債は253億円増加し、846億円となります。純資産は293億円増加し、1,428億円となります。

借方	貸方
<資産の部>	<負債の部>
浜田市と連結対象団体が所有し、行政サービス提供に利用される財産、売却可能な財産及び将来回収する資産など (内訳)	将来世代の負担で返済する債務
公共資産	地方債や将来支払われる職員の退職金など
道路・公園・庁舎など (水道事業の管渠などを合算)	
2,059億円	負債合計 846億円
投資等	<純資産の部>
基金・貸付金・出資金など	国または県の負担及び現世代・過去世代が既に負担した分
130億円	
流動資産	
現金・財政調整基金など	
うち資金 76.8億円	
85億円	純資産合計 1,428億円
資産合計 2,274億円	負債及び純資産合計 2,274億円

(4) 連結資金収支計算書

連結資金収支計算書は、次のとおりです。普通会計単体に対比、経常的収支額が11.0億円増加し、公共資産整備収支額が2.9億円減少し、投資・財務的収支額が6.1億円減少します。期末資金残高については、71.0億円増加し、76.8億円になります。なお、連結財務書類の資金とは、普通会計における現金預金(流動資産)です。

期首(平成24年度末) 資金残高 73.5億円

経常的収支	85.7億円
公共資産整備収支	△10.3億円
投資・財務的収支	△72.1億円
繰上充用金増減額他	0億円

期末(平成25年度末) 資金残高 76.8億円

(3) 連結純資産変動計算書

連結純資産変動計算書は、次のとおりです。普通会計単体に対して、財源の調達は89億円増加します。純資産残高は、293億円増加して1,428億円になります。

期首(平成24年度末) 純資産残高 1,431億円

当期変動高	△3億円
(内訳)	
純経常行政コスト	△377億円
財源の調達	375億円
(うち地方税)	73億円
(うち地方交付税)	125億円
(うち国県補助金)	164億円
その他	0億円

期末(平成25年度末) 純資産残高 1,428億円

(2) 連結行政コスト計算書

連結行政コスト計算書は、次のとおりです。普通会計単体に対して、「人にかかるコスト」は9億円、「物にかかるコスト」は37億円、「移転支出的コスト」は178億円、「その他のコスト」は13億円それぞれ増加した結果、経常行政コストは237億円増加し、538億円になります。一方で、経常収益は148億円増加し、161億円になります。その結果、純経常行政コストは89億円増加し、377億円になります。

経常行政コスト(A) 538億円

- (内訳)
- ・人にかかるコスト 69億円
職員の給与・退職手当など
 - ・物にかかるコスト 137億円
光熱水費・修繕費・減価償却費など
 - ・移転支出的コスト 313億円
社会保障給付・各種団体への補助金・他会計への繰出金など
 - ・その他のコスト 19億円
地方債の利子など

経常行政収益(B) 161億円

施設の使用料や手数料など、行政サービス提供の対価として得られた財源です。

純経常行政コスト 377億円

(A) - (B)
経常行政コストから経常収益を差し引いた純粋な行政コストです。